



木村広一の実績・取り組み

洪水ハザードマップの活用で、水害に強い地域づくりを

近年の異常気象で、想定外の災害が多発。
昨年8月の西日本豪雨で最も被害が大きかった岡山県倉敷市真備町で**災害ボランティアに参加し、被災状況を目の当たりにしました。**



現地で公明党災害対策本部が設置



現地でトラックを運転し、廃棄物処理

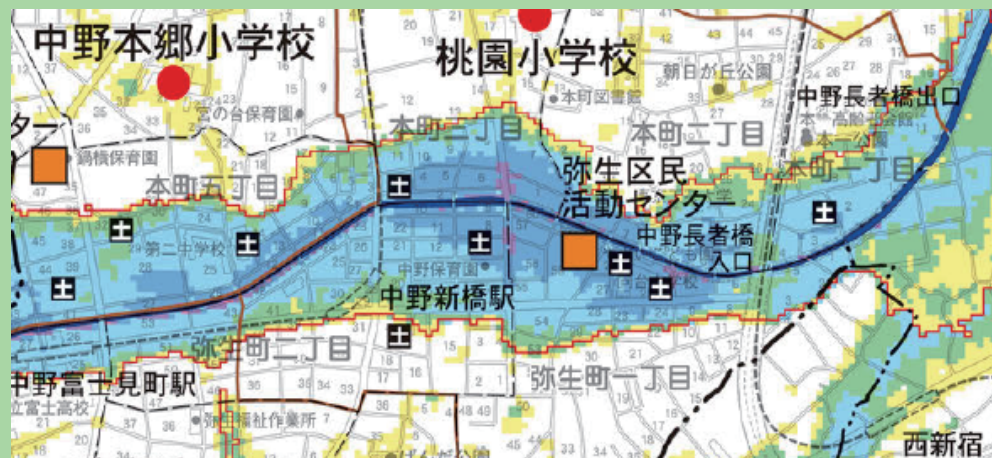


熊本地震でも災害ボランティアに参加

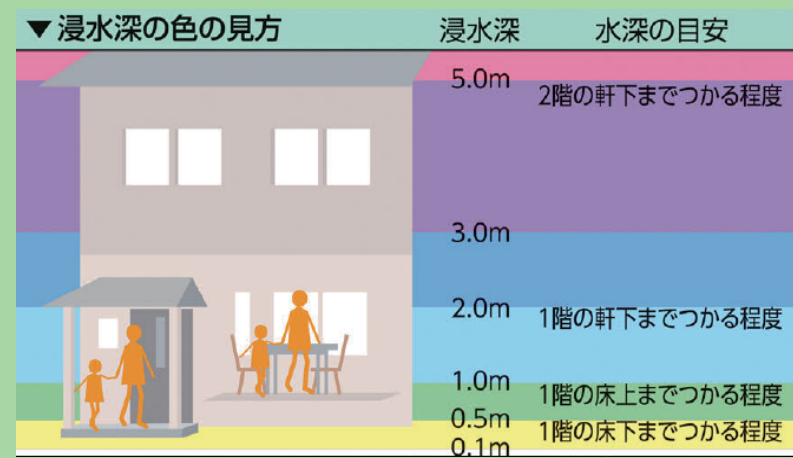
木村広一は洪水ハザードマップの更新と、対象地域への全戸配布を要望。
昨年9～10月に浸水予想区域約4万5千世帯に配布できました。
今後はこの洪水ハザードマップを水害対策に活かし、水害に強いまちづくりに取り組んでまいります。



中野三丁目付近の浸水予想



本町・弥生町の浸水予想



浸水深の見方